

「令和2年7月豪雨災害」状況報告（10月5日（月）現在）

認定 NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

1. 家屋の被害状況（参照元：総務省消防庁 10月1日 14:00 発表）

URL：https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/201001_oame52.pdf

熊本県	住家被害：全半壊 4,600 棟以上 一部破損 1,400 棟以上 床上浸水 1,500 棟以上
大分県	住家被害：全半壊 200 棟以上 一部破損 100 棟以上 床上浸水 200 棟以上
福岡県	住家被害：全半壊 900 棟以上 一部破損 1,100 棟以上 床上浸水 300 棟以上

2. 支援状況

■ 熊本県

< 情報共有会議の開催 >

・「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）」により、現在、毎週火・木 18 時より「火の国会議」水害版として開催。

（「火の国会議」議事録は、右記 KVOAD web サイトより閲覧可能 <https://www.kvoad.com/> ※熊本地震版の同時開催もあり）

・JVQAD は熊本県・県社協・NPO コア会議および、熊本市合同会議に同席させていただいた。県・県社協・NPO コア会議では、支え合いセンターの準備状況等が共有され、熊本市合同会議では、熊本地震支援の進捗と合わせて、7 月豪雨災害の対応や今後の方策、台風 10 号に対する事前の動きについて協議された。

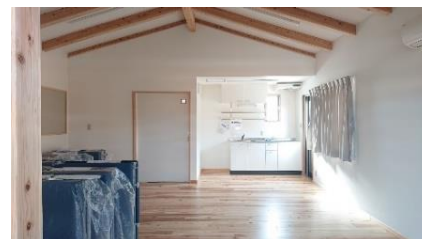
< 避難所運営 >

● 支援団体の取り組み

運営支援の知見を持つ支援団体が、一部の避難所において運営サポートを行い、避難された方がたの環境改善に取り組んでいる。避難所閉所後の行先が定まっていない方については、包括ケアセンターや保健師と情報共有しながら支援を進めている。

< 仮設住宅への入居 >

KVOAD とともに、人吉市内の建設仮設団地を訪問。今後の集会場への家電等備品支援の調整に向けて、集会場の状況を確認させていただいた。



< 生業 >



● 農地について

・KVOAD とともに、人吉市の田んぼを視察と農家の方へのヒアリングを実施。田んぼの中に入った流木や岩などの大物は農地復旧事業に組み入れ、電気柵の残骸やごみが入り込み、コンバインでの刈り取りが難しい状況の田んぼについて、手作業で出来る部分をボランティアや支援団体等によって支援できるか調整を開始している。

7 月豪雨災害に伴う地域支え合いセンターの設置が決まりました！

県、市町村へ「地域支え合いセンター」が設置されます。今後、被災された住民の方がたへ、支え合いセンターを中心とした見守りや健康づくり・生活支援、地域交流の促進など、総合的な支援が行われる予定です。JVQAD も引き続き KVOAD および地域支え合いセンターと連携しながら、現地の状況に合わせたサポートを行っていきたくて考えております。